

二五八二番

あづきなく 何の狂言 今更に 童言する
老人にして

二五八三番

相見て 幾久さにも あらなくに 年月のごと
思ほゆるかも

二五八四番

ますらをと 思へる我を かくばかり 恋せしむ
るは 悪しくはありけり

二五八五番

かくしつづ 我が待つ験 あらぬかも 世の
人皆の 常ならなくに